

平成 26 年度 地域スポーツクラブマネジメントセミナー 第 5,6 回 実施報告(H27.1.24 実施)

第 5 回「助成金を活用した運営の質を高めるための仕組みづくり」

第 6 回「イベントの企画と情報発信」

講師：山田 泰久 氏(NPO 法人 CANPAN センター 常務理事)



今年度の地域スポーツクラブマネジメントセミナー第 5,6 回は、講師に NPO 法人 CANPAN センターから山田泰久氏をお招きして実施された。午前に行われた第 5 回では、助成金の活用についてお話しいただいた。まずは、助成金の種類やそれぞれの助成金の公募時期や対象事業者の性質について説明された。助成金は、区市町村が出し手になる小規模なものから国が出す大規模なものまで幅広くあり、多くの選択肢があることがわかった。また、山田氏は助成金甲子園という言葉を用いて、区市町村レベルから全国レベルのものへ向かって自団体の成長過程に合わせて助成金を選択していくことが有効であると提案されていた。続いて、申請時のポイントについてお話しされた。申請においては、事業の内容が明確であり、事業がクラブのためだけではなくクラブを通して受益者や地域に貢献するものであることが大切であるとのことであった。また、助成事業を行う背景や事業実施後の展望などが明確であることも審査側の視点から重要なポイントであるとのことであった。他にも助成対象となる事業づくりのポイントや、インターネットを利用した情報収集など、内容の濃い講義内容であった。ワークや受講者間の意見交換の機会も設けられ、受講者にとって有意義な講義となったようであった。

午後に行われた第 6 回では、イベントをテーマに講義が行われた。受講者自身がイベントを考案するワークを中心に、イベント企画のポイントや、アイデア、有効活用できるツールなどがお話しされた。イベントを企画する際のポイントとしては、どんな人に参加してもらいたいのか、何を感じてもらいたいのかといった視点が必要であり、それらを実現するアイデアを具現化するツールとしてイベントがあるとのことであった。イベントを管理する際には、告知や料金回収などの手間がかかることから、これらの負担を軽減するためのインターネットツールやアプリも紹介された。これらの講義をもとに、受講者それぞれが考案したイベントを全受講者に紹介し、講義は終了となった。受講者それぞれのバックグラウンドが反映されたユニークなイベントが発表され、山田氏から組み合わせたらおもしろくなりそうなものもあるといったように、実現が期待される企画も数多くみられた。充実した内容とワークによる作業や発表により、受講者にとって力となる有益な講義となったようであった。

